

平成 20 年 2 月の発足から TRAUBEN は今年で 10 年！！当初は、こんなに長く続けられるとは思ってもみなかった後援会ですが、皆様のお陰で元気に存続していること、心より感謝申し上げます。

4 月 17 日には、2 年ぶりの Motion Blue Yokohama でのライブコンサートが決定！ニューヨークに本店を持つ、かの Blue Note Tokyo の姉妹店です。春爛漫の赤レンガ倉庫にぜひ、遊びにいらしてください、お待ちしております！

近況報告

今年は 3 月に雪、そして一気に桜の開花となんだか早足に季節が移行したような・・・ヨーロッパのイースターを過ぎると一斉に花が開き、花の香りにむせるうちに、強い日差しが肌を刺し、すぐに夏に突入という、突然と変わる季節感を思い出しました。

ロンドンも今年は雪がよく降ったようで、雪だるまや雪を崩した形で占いをしている様子の写真が友人より届き、イギリスもオーストリアも今はまだ春は遠く、曇り空を眺める日々なのだ、日本滞在も長く大分慣れてきたけれど日本の天候の良さをあらためて感じています。

占いといえば、3 月 28 日のエアジンでウィーン時代、ジプシーの友人たちに関連した曲目を演奏することになり、彼らがよく行うコーヒー占いを本番前に試しました。飲み終わったカップの底のコーヒーかすをナプキンに移してその模様で占うのですが、何か新しいことがおきるといわれる木肌の柄が出たような・・・新しい季節、新しいことに挑戦し、様々に演奏していきたいと思っています。

4 月 17 日は久しぶりに赤レンガの Motion Blue で演奏します。ジプシーの曲、スィングにも挑戦し、揚げひばり等大好きな楽しい曲を色々と弾きますので、お立ち寄り頂ければ嬉しいです。

【伊都】



第 0 回 喜和堂朗読会 喜・舞・音

3 月 24 日、東京の東陽町にあるパフォーマンススペースで、詩とダンスと音楽のコラボレーションが行われました。主宰は、野村喜和男さんという、詩の世界では重鎮、巨匠で著作も多数という有名な詩人です。

フランスの近代音楽の巨匠プーランクが、民族運動をして銃殺されたスペインの詩人ロルカに捧げたヴァイオリンソナタを使ったアレンジや、マーラーの後継者といわれたコルンゴルドという、20 世紀のオーストリアの作曲家のヴァイオリンコンチェルト（かなりの難曲で有名）から抜粋で合わせたりと、なかなかディープでコアな内容の、面白い企画でした。

【伊都】

Ito=Solo Vol.3

3 月 28 日、横浜馬車道のライブハウス横浜エアジンで、満席のお客様を迎え 3 回目のソロライブを行いました。バッハ生誕 333 年ということで、バッハの無伴奏ヴァイオリンソナタの中でも一番マイナーで長い、ソナタ第 3 番とアヴェ・マリア、そしてウィーンで一緒だったジプシーの友人が先日楽友協会（ニューイヤークンサートで有名）の地下のホールでバッハトリビュートというコンサートをした映像から、G 線上のアリアやドッペルコンチェルトをアレンジしたもの&ジプシーの曲数々を弾きました！

後半は今年もピアニストの近藤紗織ちゃんに手伝ってもらい、やはり同じ 333 歳のヘンデルのラルゴというアリア、バッハをものすごくフューチャーしていたガーシュインのプレリュードとポギーとベスから It Ain't Necessary So、バッハのソロソナタ第 3 番はウィーン音大の学内コンクールで賞をもらって、やはり楽友協会の地下のホール（弾いている作曲家の亡霊が出るので有名）でバッハの亡霊におびえながら弾いたことや、私のことを気に入ってくれていた音大の弦楽器主任がガーシュイン好きだったことなど、ウィーンにまつわる思い出を色々話しながら、最後にウィーンで、ジプシーとのハーフのピアニストとよく弾いていたツィゴイネルワイゼンを弾いてフィニッシュとしました。【伊都】

Ito Kanoh Spring Live at Motion Blue Yokohama

2018年4月17日(火)

open 6:00pm start 7:30pm

横浜赤レンガ倉庫3F Motion Blue Yokohama

自由席 ¥3,500 (税込。飲み物、料理は別料金)

BOX 席 ¥14,000 + シートチャージ ¥3,000
(4名まで利用可能)

オンライン予約 または 電話予約

www.motionblue.co.jp

045-226-1919 Motion Blue Yokohama



ジャズを始めとする多様な音楽ジャンルの国内外の
トップアーティストが出演する格調高いライブハウス
Motion Blue Yokohama での2度目のライブ!
クラシック、ジャズ、タンゴ、ジプシー、アイリッシュ
とジャンルを超えて、春らしい、心はずむ楽しい曲
をお届けします!!

加納伊都 ヴァイオリンレッスン in 横浜山手

プライベートヴァイオリンレッスンが始まりました!
ウィーン国立音楽大学で研鑽を積み、ヨーロッパ、日
本でソリストとして活動中の加納伊都がヨーロッパで
学んだ音楽、ヴァイオリンの楽しさを教えます。
(ヴァイオリンがある程度弾ける方が対象です。初心者
の方はご相談ください)

お問い合わせ 加納伊都ホームページ「Lesson」の文字を
クリックし、「Mail」をクリックして下さい。

内容 マンツーマンのプライベートレッスンです。
個々に相談して曲目を決め、レッスンを進めていきます。

場所 1) 横浜市中区根岸加曽台
JR山手駅より徒歩10分
2) 横浜市中区山手 イタリア山庭園至近
JR石川町駅南口より徒歩6~7分

メールマガジンのご登録はこちらから http://itokanoh.com/form_mm/mm.html



DVD Classic Collection

作品 No.32 「ボーイ・ソプラノ
ただひとつの歌声」

2014年アメリカ

～神様がくれた束の間の声～

あらすじ

アルコール中毒の母親に育てられた少年ステットは、学校でトラブルばかり起こしていたが、校長はステットの美声に才能を感じていた。ある日母親が事故で亡くなり、ステットが隠し子であることを家族に知られたくない資産家の父は、彼を国立少年合唱団の付属校に入学させる。そこで、厳格な指導者カーヴィル(ダスティン・ホフマン)に出会い、ステットは少しずつ変わっていく。

見どころ

前々号でご紹介した「カルテット!」では監督として映画を作ったダスティン・ホフマン、77歳の時の出演作品。彼自身が昔ジャズピアニストを目指して音大で学んだことがあるそうで、ピアノを弾くシーンは本物。合唱曲には主にヘンデル、フォーレ、メンデルスゾーンなどのミサ曲が多く、美しい歌声に心洗われる。ステット役のギャレット・ウェアリングは12歳の少年で、超高音以外は吹き替えなしで本人が歌っているようだ。影のある少年をよく演じている。

感想

想像通り、予定調和のストーリーかもしれないが、深い色調の映像と、音楽の良さと、主役の少年の可愛さ、それにダスティン・ホフマンの渋さ…を足すと、なかなかの好感度だった。ウィーン少年合唱団がライバルであることを公言する「アメリカ少年合唱団」が本作のモデルとなり、メインキャスト以外は実際の合唱団のメンバー。国内外で年間200以上の公演を行っている。

*DVDはTSUTAYAの店舗でレンタル可能な作品のみをご紹介します

編集後記 上記のDVDを観た数日後、「題名のない音楽会」で日本人の少年の美しいボーイソプラノを聴きました。今年はバーンスタインの生誕100年にあたり、その記念に昨年大阪で上演された「ミサ」という劇場音楽を紹介する番組です。バーンスタインは自身がユダヤ人であることや同性愛者であることの苦悩を抱え、加えてウェストサイド物語の成功によって、本来自分の目指すものと社会が期待するものとの差に苦しみ、自分の内面にある複雑な思いや葛藤を込めたのがその作品「ミサ」ということです。70年代当時、ベトナム戦争批判や宗教批判も含まれることから物議を醸し、200人という出演者の多さもあり上演されることは少なかったそうですが、神を賛美する「ラウダ」という曲で少年の美しい声が響きます。若い女性の声でも少女の声でもなく、少年のみが表現できる芸術だと実感しました。(ゆ)

発行: 加納伊都後援会 TRAUBEN

〒231-0835 横浜市中区根岸加曽台 15

TEL: 045-622-6780

FAX: 045-621-6423

Email: trauben@itokanoh.com

Homepage: itokanoh.com

